

## 新たな府民意見について

総件数 1200件（平成23年3月14日～10月19日分）

前回以降の件数 477件（平成23年9月23日～10月19日分）

メール、ホームページ問い合わせシステムによるもの : 247件

電話によるもの : 224件

FAXによるもの : 5件

郵送によるもの : 1件

### ◆反対意見：475件

災害廃棄物の汚染について	
	当初飛散しないとされていた放射性物質（プルトニウム、ストロンチウム等）が検出されているため測定すべき安全と言われていた地域からも後になって放射性物質が検出されている、受け入れた後で汚染が判明したでは遅い 低濃度の汚染でも大量の廃棄物を処理することになれば大きな問題である 降雨による浸透等により状態が変化する可能性がある
受入、復興支援について	
	広域で処理を行うと汚染が拡大し長期的に対策を行わなければならないため、早期の復旧・復興と相容れない 福井県でもし同じような事故が起これば受入は賛成するが、関東圏のものは関東圏内で処理すればよい 大阪まで運搬するのは効率が悪いので被災地周辺（東北・関東）で処理すべき 現地でのインフラ面での援助をすべき（処理施設、ドーム型のシェルターの建設等） 200海里内の無人島にがれきを置いてはどうか
処理、処分について	
	既存の焼却炉は放射性物質の処理は考えられていないのではないか、府内の炉で問題ないのか 今まで放射性物質を焼却処理した先例がないため影響を考えることは困難である 施設周辺の住民が反対すれば中止されるのか 焼却によりガス化した放射性物質を吸い込むと肺胞まで到達するため危険である、再臨界が起きる 排ガスは水でたたかないとだめ 既存の排水処理施設は放射性物質の処理は考えられていない 焼却すると新たにホットスポットを作ってしまう フェニックス処分場に埋立すると、東南海、南海地震で津波が来て護岸が破壊されたら放射性物質が漏出する 最終処分場の排水から基準を超えるセシウムが検出される事例があった
検討会議、処理指針について	
	府民の意見は検討の中でちゃんと反映されているのか 検討会議以前に府民投票を行い、受入の是非について府民の意見を明らかにすべき 決定する以前に知事から公開で説明してほしい 安全という前提で議論しないでほしい、安全な方向で考えてほしい 受入を前提に検討を行っているのではないかと、検討会のメンバーは受け入れ推進派ばかりである、反対派も加えてほしい もっとデータを集めて会議で資料として提示してほしい 傍聴人数が少ない、土日に傍聴人数の制限なしで開催してほしい 検討会議の開催について事前に自治会等に周知してほしい HPの公表が分かりにくい PCを持たない府民に対する周知についても考えてほしい、テレビや新聞で報道してほしい 府民にも質問の場を設けてほしい 府のみでなく、周辺府県も交えて議論してほしい 濃度と量の両面から考慮すべき モニタリング体制をしっかり定めてほしい（モニタリングポスト、頻度、方法、クロスチェック等）
国の基準について	
	8000Bq/kgという基準値は他国では放射性物質とみなされる値である、8000Bq/kgは安全だと言う理由は何か 濃度の低い廃棄物と混合して平均値として8000Bq/kgという基準はおかしい
その他	
	東北から避難してきた方々を再び汚染にさらすことになる 大阪で受入が開始され汚染されたら転居しなければならなくなる 車に付着した放射性物質も問題である 福島県産の食材が売れ残り、焼却される際に放射能を撒き散らしている 東北以外の地域へ汚染を広げると東電や国の賠償問題がぼやける、責任を誤魔化そうとしている 全国に汚染を広げるとモニタリングが難しくなる 放射性汚染の可能性のあるものをリサイクルすると放射線を避けるのが難しくなる 大阪が汚染されると副首都として機能しなくなる チェルノブイリ原子力発電所事故の影響で現在も障がい児が増えている 産業廃棄物や有価物として府に入ってきているのではないかと 放射性廃棄物を受け入れるとなれば、ごみの分別をするのが馬鹿らしい

### ◆賛成意見：2件

主な内容	
	被災地すべてが汚染されているわけがないため、汚染されていない廃棄物の処理の手助けをすべき 災害廃棄物は復興の妨げになるため、広域で処理すべき 受入中止ではなく、信頼できる調査や説明をして受入を進めてほしい